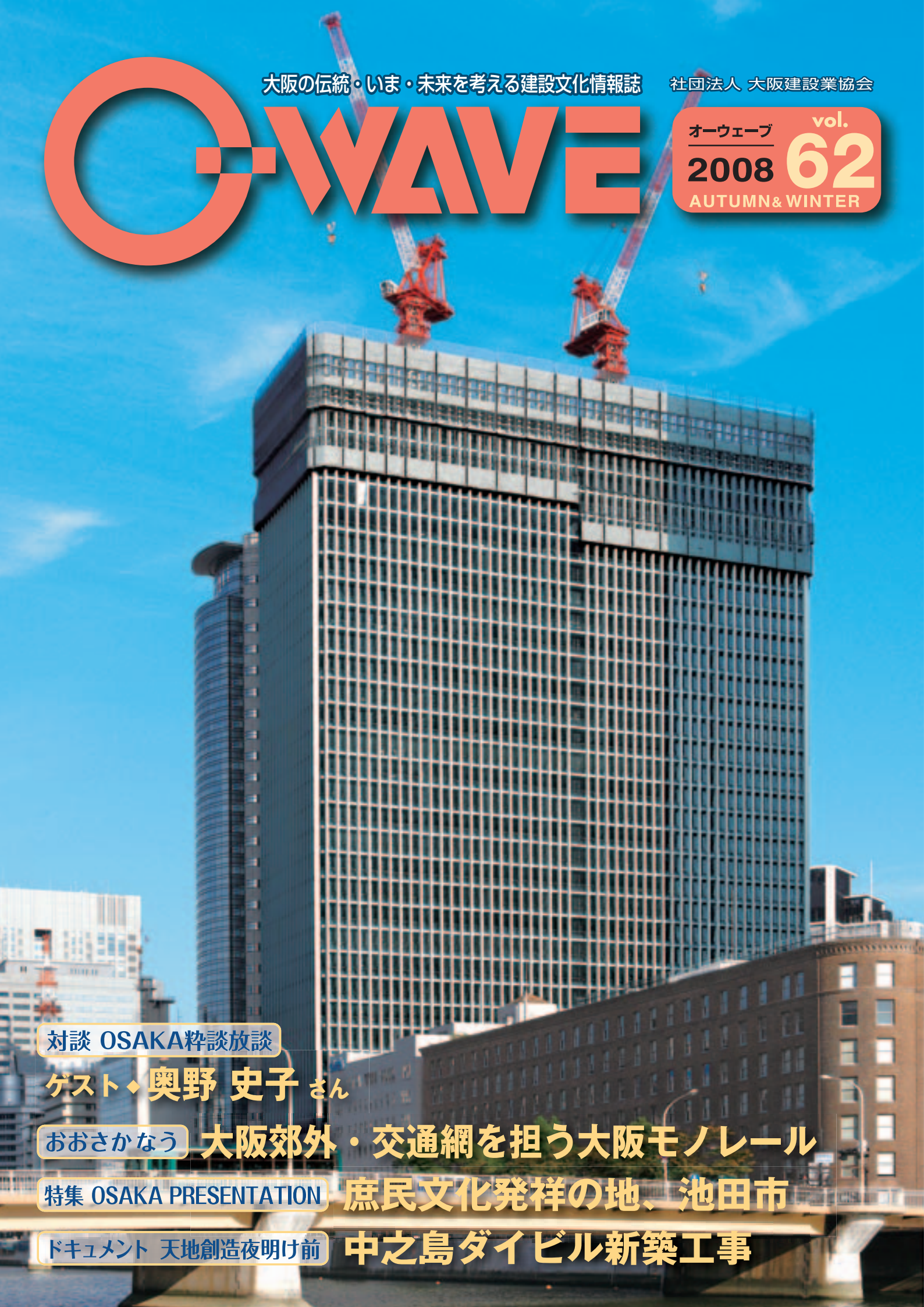
大阪の伝統・いま・未来を考える建設文化情報誌

社団法人 大阪建設業協会

O-WAVE

オーウェーブ
2008 AUTUMN& WINTER
vol. 62



対談 OSAKA粋談放談

ゲスト◆奥野 史子 さん

おおさかなう 大阪郊外・交通網を担う大阪モノレール

特集 OSAKA PRESENTATION 庶民文化発祥の地、池田市

ドキュメント 天地創造夜明け前 中之島ダイビル新築工事

粋放談 OSAKA

主人（朝原選手・北京五輪陸上銅メダリスト）の引退後は家族みんなで気軽にジョギングを楽しみたい

スポーツコメンテーター
奥野　史子 さん

VS

社団法人 大阪建設業協会　会長
奥村　太加典

Fumiko Okuno

全国を感動させたご主人の銅メダル獲得

奥村　本日はお忙しいなか、当粋談放談にお越しくださいましてありがとうございます。奥野さんにお会いしたら、真っ先にご主人の銅メダル獲得のお祝いを言わなければと思っていました。（対談は北京オリンピック終了直後の9月初旬に行われました）

奥野　こちらこそありがとうございます。皆さまの暖かい応援があってこそのメダル獲得だったと実感しているところです。

奥村　私はあの瞬間を自宅のテレビで観戦していました。38秒間の劇走もさることながら、走り終わった直後の、リレー4選手それぞれの表情をカメラが追い続けている時の静寂。そして電光掲示板にジャパンの文字を見つけた瞬間、朝原選手の表情がはじけ、次には他の3人が駆け寄りその場で抱き合い感泣する……その静と動の対比シーンに、私も思わず感動に震えてしまいました。日本中が興奮と感動の渦に巻き込まれたことでしょう。本当にありがとうござ

Profile

奥野（おくの）　史子（ふみこ） さん

京都府出身。同志社大学大学院修了。平成4年(1992年) バルセロナ五輪 シンクロナイズドスイミング、ソロ&デュエットの銅メダリスト。北京五輪陸上男子400メートルリレー銅メダリストの朝原宣治選手と平成14年に結婚。トップアスリートとしての経験を活かし、スポーツコメンテーターとして歯切れの良いコメントが広く共感を得ている。平成12年から2年間、シルクドソレイユに所属し、ラスベガスで最高峰の「O」(オー) に出演。その他、京都市基本構想等審議会・委員、京都府総合開発審議会・委員、京都市南部地域における創造のまちづくりのための研究会・委員、京都市人づくり21世紀委員会・顧問、大阪市教育改革懇話会・委員など幅広い分野で活動中。■主な受賞歴：文部省（当時）スポーツ功労賞、(財) 日本オリンピック委員会 オリンピック特別賞、京都市 スポーツ栄誉賞、大阪府 スポーツ大賞、京都府 あけぼの賞など多数。

粋 放談 OSAKA 談

主人の勇姿を刻み付けておかないと後悔する 居ても立ってもいられなくなり、北京へ駆けつけた（奥野）

いました。奥野さんはその瞬間をスタジアムで観戦されたのですね。

奥野　そうなんです。当初は、子供も幼いので自宅で観戦の予定でした。その1週間前に男子個人100mの2次予選で主人は敗れました。そしてリレーでは、予選3位で決勝進出。「これは現地に行ってその勇姿を刻み付けておかないと、きっと後悔するな」と思うと、居ても立ってもいられなくなり、急遽（きゅうきょ）、北京へ入りました。当日はテレビの生出演が2本入っていたのですが、関係者のご理解をいただきキャンセルさせていただきました。

奥村　テレビ局の関係者もよく思い切ってキャンセルを引き受けてくれましたね。

奥野　そうなんです、なにしろ生番組の前日キャンセルですからねぇ……（笑）。でも、おかげさまでメダルも獲れたし、現地から衛星生放送で出演することもできました。後で私と娘の応援シーンを見る機会があったのですが、もうなりふりかまわず絶叫しているだけで、赤面ものでした（笑）。

奥村　陸上でのメダル獲得はトラックでは80年ぶり、リレーでは初という歴史的快挙だそうですね。

奥野　なんでも人見絹江さん（1928年アムステルダムオリンピック女子800m銀メダル。これは日本陸上初、日本女性初のメダル獲得）以来ということです。80年前ですから、私たちのほとんどが記録でしか知らないですよね。

奥村　外国チームの多くがオーバーハンドパスですが、日本チームはアンダーハンドパスでした。アンダーパスの方が難しいんでしょう？

奥野　あの4人は、練習時間のかなりの部分をアンダーパスに割いてい

Takanori Okumura

北京オリンピック・シンクロナイズドスイミングでは日本と中国は熾烈な戦いを展開しましたね（奥村）

朝原選手、日本陸上選手権大会にて

たようです。主人が、「来年春の運動会では、みんなアンダーパスになるんとちゃうか。けど、あれは難しいで……」と、（笑）。

奥村　朝原選手は、今後どうされるんですか。

奥野　ちょうどこの時間に、大阪ガス本社で引退会見を開いているところです。短距離選手で36歳というのは、とうに選手としての限界を超えています。その間の苦しんでいる姿を何度となくそばで見てきましたし、オリンピックという舞台でメダル獲得という結果も出せたし、思い残すことは何もないのだと思います。これからは記録のための走りではなく、家族みんなで楽しみながら走れたらいいな、と思っています。

北京オリンピックの時、娘と応援に駆けつけた

誰も注目しない頃に出会ったシンクロナイズドスイミング

奥村　奥野さんご自身についてお聞きしたいのですが、シンクロナイズドスイミング（以下シンクロと表記）を始められたきっかけは何なのでしょうか。

奥野　私が小学校低学年の頃、姉たち二人が近所のシンクロコースも併設しているスイミングスクールに通い始めました。「おねえちゃんがするなら、私もする」みたいに始めたのがきっかけで、気が付いたらやっていました。

奥村　当時、世間ではシンクロという名前すら知られてなかったんじゃないですか。

奥野　そうなんです。シンクロがオリンピックの正式種目として認められたのが、1984年のロサンゼルス・オリンピックの時で、私は小学6年生でした。将来の夢を抱き始めるちょうどその頃に、自分のやっているシンクロがオリンピックでも認められ、未来への道が開かれました。本当にラッキーだったのだと思います。翌年には井村雅代先生がスクールを主宰されることになったので、それに合流し、以来シンクロ漬けの毎日でした。

奥村　井村監督のお話が出ましたが、今回のオリンピックでも日本と中国は熾烈（しれつ）な戦いを演じましたね。

奥野　中国の監督に就任した時には、いろいろと言う人もいましたが、もともと世界的な指導者として注目されていた方ですから、各国からスカウトされるのは当然といえば当然なんですね。実際、わずか数年で中国は世界のトップグループに躍り出たわけですし……。今回のオリンピックでもデュエットで日本が銅メダル、チーム（団体）で中国が銅メダルでした。狭い視野で日本だけのことを考えるなら、井村先生は日本で指導を続けて欲しいとも言えるでしょうが、むしろ中国の監督となることで、その裾野を広げ、シンクロを世界的なスポーツへと導いている本当の意味での指導者なのではないでしょうか。

バルセロナオリンピックで銅メダル獲得

奥村　以前、井村さんの講演をお聴きする機会があったのですが、「よく『自分を褒めてやりたい』とコメントする選手がいますが、褒めるのは他人。誰かに褒められて成長していきなさい」とご自身の指導方針を語っておられました。やはりその指導は厳しいのでしょう。

奥野　自主的にみんなで練習しているところに井村先生が現れ、プールサイドにスッと立つ。それだけで、その一帯にピーンと緊張感が張り詰めるんです。教え子への情熱、シンクロへの情熱、全身が闘魂の塊のような方でした。当時、いちばんうれしかったのは井村先生に褒められることでした。こんな関係って、ちょっとないですよね。

奥野さんの競技風景。1994年の演目「昇華・夜叉の舞」

奥村　今回のオリンピック・シンクロを観戦していて、ロシアの強さが群を抜いていたように感じました。ロシアはどうしてあんなに強いのですか。

奥野　それはスパイでも派遣して調べないと私にも分からないですね（笑）。ただ、国家事業として予算も

教え子への情熱、シンクロへの情熱の塊、井村先生 いちばんうれしかったのは先生に褒められること（奥野）

スポーツコメンテーターの仕事にも トップアスリートの経験が活かされている…（奥村）

ご夫婦で獲得した銅メダル。真ん中が北京オリンピックの朝原選手の銅メダル
両側が奥野さんのバルセロナオリンピック・ソロとデュエットの銅メダル

時間もふんだんに使っているのだけは確かだと思います。

奥村　スポーツの予算というのは付きにくいのですか。

奥野　シンクロもそうですし、他の多くのスポーツもみんな予算不足に頭を抱えているんじゃないかと思います。関係者の熱意と、選手の手弁当、わずかな寄付でなんとか保っているのが現状です。メダルの獲得数だけを論じるのは問題でしょうが、予算とメダル獲得が正比例しているのも事実です。そんな中でよく健闘したのが、今回のオリンピックではないでしょうか。

奥村　奥野さんはスポーツコメンテーターとして活躍されていますが、トップアスリートの経験がおおいに活かされているのではないですか。

奥野　アスリート共通の話題なら共感もし、話も弾みますが、そうでない場合の方が多いです。阪神タイガースを取材する仕事があったのですが、私が知っていた選手といえば新庄選手ぐらい。そんな野球音痴の私ですから「現場を見る、知る」ことに徹底しました。とにかく球場に出かけて試合をたくさん見て、覚える。選手やコーチに声をかけて、お話を聞かせていただく。そうした現場主義の中から、アスリートとしての経験を交えてメッセージを発信していく。どんなスポーツでも、みんなが共感できる話題を探して、その楽しさを伝えていきたいと思っています。

ふるさと京都、青春の大阪 対照的なふたつの文化

奥村　奥野さんは京都でお生まれになり、京都にお住まいですが、大阪ともご縁が深いようです。ふたつの文化・街・人についてどのようにお

感じですか。

奥野　私が子供の頃の京都は、今より厳しい高さ制限があったので、五山すべてが見渡せました。今は高い建物も増えて見ることができません。少しずつ統一感が失われつつあるように感じます。といっても他の街に比べればかなり厳しい建築規制があるわけですが……。一方の大阪ですが、高校が四天王寺高等学校だったので、青春時代を大阪で過ごしたことになります。一駅下れば、天王寺。そのごちゃごちゃとした雰囲気に、最初はかなりのカルチャーショックを受けました。しかし慣れてくると、結構楽しい。天王寺という独特の街で、青春時代を堪能しました。

奥村　天王寺・阿倍野界隈も当時と比べればずいぶん変わったと思います。高さ３００ｍの日本一の超高層ビルも計画されていますし、さらに変貌することでしょう。大阪も頑張っていることを示したいですね。

奥野　私は、街を上からの、鳥瞰の目線で見るのが好きなんですね。そうやって見ると、街全体の統一感がよく見えます。

奥村　大阪人対京都人という比較人物論として、その街に暮らす人についてはどうお感じですか。

奥野　京都人はいわゆる「察しておくれやす」という奥ゆかしさが特徴ですが、大阪人はなんでもかんでも包み隠さず喋ってしまう。最初は「そんなこと、言ってもいいの？」と、とまどいました。けれど慣れてくると、このストレートな言い方には裏表がないことがわかるようになり、そうなるとざっくばらんにつきあえる。街にしても人にしても、どちらにもそれぞれの良い点があると思います。それを伸ばしていけばいいのだと思います。

奥村　そうですね、大阪人というのは思った瞬間にもう口に出しているようなところがありますね（笑）。

奥野　そんな大阪の空気を吸ったせいか、京都人にも大阪人にもなりきれない自分が居るような気がするんです。

奥村　それはむしろ、京都からも大阪からも受け入れられているということだと思いますよ。

奥野　関西というくくりでみると、そうした素晴らしい文化があるのに、何でもかんでも東京に流れていって少しさびしい気もしているんです。

奥村　その点、奥野さんやご主人のように関西を拠点に活動されながら、世界にメッセージを発信される、いわば関西サポーターにおおいに期待したいところです。きょうは本当にありがとうございました。

素晴らしい歴史と文化を育む大阪と京都
それを大切にしながら発展すればいいのでは…（奥野）

大阪交通網の、包括的大動脈
―大阪モノレール―

”一本の“という意味を表すモノ（MONO）。つまり、1本のレールの上を走るという意味の『モノレール』。大阪モノレールは、大阪市を中心に放射状に伸びる私鉄を文字通り一本のレールで環状に結び、通勤、通学、買い物、レジャー、旅行等、生活の足として、周辺都市間の移動の便を確保している。また、茨木市・箕面市の北部で建設が進められている国際文化公園都市（彩都）へのアクセスとして彩都線が開通。今後も延伸が予定されるなど、大阪の発展に欠かせない都市インフラとして、ますますその役割が期待されている。

跨座式を採用している大阪モノレール

モノレールは、その機構や外観的イメージから新しい交通機関のように思われがちだが、はじまりは意外に古く、今から約150年余前、蒸気機関車が実用化される前後の1820年代といわれている。日本では昭和26年（1951年）、東京・豊島園で遊園地用として設置されたのが最初である。モノレールには、レールにまたがって走る跨座式と、レールからぶら下がる懸垂式の2種類がある。このうち、大阪モノレールは跨座式を採用。現存する日本のモノレールでは、「東京モノレール」「沖縄都市モノレール」等が跨座式、「千葉モノレール」「湘南モノレール」等が懸垂式を採用している。安全性、乗り心地などそれぞれメリットがあるので、旅行の折、乗り比べてみるのもおもしろいかもしれない。

都市交通の集中による弊害を緩和

大阪市を中心として発展し、一極集中型の放射線状に延びる鉄道網で結ばれた大阪都市圏。このため、都心部では交通の過度の集中による弊害が生じている一方、周辺部では市街地の拡大により、既存の鉄道サービスを受けられない地域が増える傾向にあった。これを解消する手段として、放射状に延びる鉄道網と有機的に結節する環状方向の鉄軌道の実現が待ち望まれていた。そして各方面にわたる調査検討の結果、環状鉄軌道の輸送需要は、最大1時間あたり1万6000人と推定され、中量輸送機関

ギネスにも認定された
運行距離が世界一長い
「大阪モノレール」
写真提供：大阪高速鉄道株式会社

次々と発展を遂げる大阪交通網

鉄道を中心とした大阪の都市交通網は、各線の延長や新しい路線の誕生によって、今後もますます発展していく。

地下鉄今里筋線の延伸
（今里～湯里六丁目間）

大阪市東南部地域から、環状方向の路線として鉄道ネットワークの利便性を向上させる路線。（次期整備線として計画中）

阪神なんば線

阪神西九条駅と近鉄難波駅が連結し、神戸、大阪、奈良の三都が結ばれる。地下鉄、私鉄、JRへのアクセスも便利に。
平成21年３月開業予定。

写真提供：阪神電気鉄道株式会社

が適合すると判断され、新しい交通システムとしてモノレールの事業化がすすめられることとなった。

現在の大阪空港～門真市間21・2㎞が開通したのは、平成9年（1997年）8月のこと。それまで国内最長であった東京モノレール（16・9㎞）を抜いて世界最長のモノレールとなった。イギリス・ギネス出版社からモノレール営業距離世界最長の認定も受け、世界一を集めたギネスブックに登録。ギネスブック認定証の写しが、主要駅（大阪空港・蛍池・千里中央・山田・万博記念公園・南茨木・大日・門真市）のコンコースに掲出されている。

また、北摂丘陵に事業を展開する国際文化公園都市（彩都）への主要なアクセスを確保するために、彩都線も計画。万博記念公園～彩都東間9・1㎞のうち、万博公園～彩都西までの6・9㎞が開業している（平成19年3月）。

◆数字で見る大阪モノレール

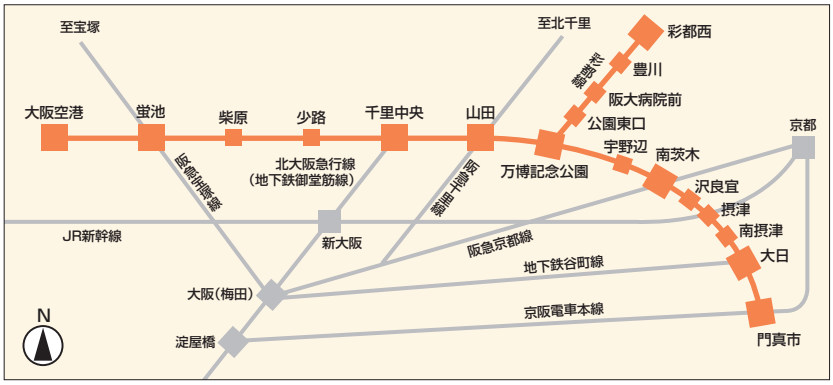
路線距離（営業キロ）	21.2km
方　式	跨座式
駅　数	14駅（起終点駅含む）
複線区間	全線
電気方式	直流1500V
信号保安装置	車内信号閉塞式
最急勾配	50‰ （少路～千里中央間・摂津～南摂津間）
最急曲線	半径100m（蛍池～柴原間）

◆歴史

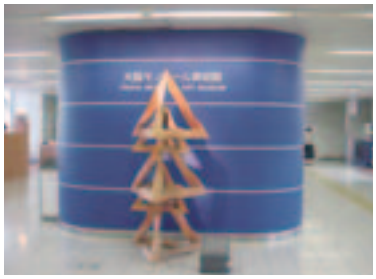
1990年（平成2年）	千里中央～南茨木間が開業。
1994年（平成6年）	柴原～千里中央間が開業。
1997年（平成9年）	大阪空港～柴原間が開業。 茨木駅を宇野辺駅に改称。
1997年（平成9年）	南茨木～門真市間が開業。
1997年（平成9年）	「モノレール営業距離世界一」としてギネス認定。
2007年（平成19年）	彩都線一部開業。

人と街がひとつとなる地域密着型施策

大阪モノレールは「人にやさしい鉄道」をスローガンに掲げ、利用客の利便性を向上させるさまざまな取り組みがなされている。地域の買い物などに便利なレンタサイクル（1回100円・登録必要）や周辺住民の寄付によってまかなわれる「モノレール文庫」の無料貸出し、大阪府の現代彫刻コレクションの中から一般の公共空間での展示にふさわしいものを選んで設置された「大阪モノレール美術館」など、さまざまなサービスを実施。地域発展のためのインフラとして、これからの時代にもマッチした公共交通機関といえるだろう。



通勤通学途中に世界の現代彫刻が楽しめる「大阪モノレール美術館」



写真提供：大阪高速鉄道株式会社

大阪空港駅	吉田和央、田邊朗、清水九兵衛
蛍池駅	白徹洙、エルナン・ブエルマ
柴原駅	森口宏一（4点）
少路駅	森口宏一（2点）
千里中央駅	ディヴィッド・ウィルソン ゼンナーロ
山田駅	森口宏一
万博記念公園駅	ダニエル・バレット オダ・マサユキ アントニーン・スティーブレック タワッチャイ・バントゥサワット セバスチャン レイヨ・ヨハニ・バービライネン チェ・ソクホ、清水九兵衛
宇野辺駅	清水九兵衛
南茨木駅	池田丈一
沢良宜駅	下次正一、ジャン・デュビュイ
摂津駅	吉田和央、アナーヘ・スミス
南摂津駅	エルナン・ブエルマ
大日駅	シディア・レイエス・エスカローナ 小田信夫、トム・C・オール
門真市駅	清水九兵衛、ジンクベ

堺市東西鉄軌道計画

堺臨海地域と堺市中心部約8.3㎞を結ぶもので、LRT（ライト・レール・トランジット）方式の路面電車を採用。平成22年の開業をめざして、計画は着々と進行中だ。

京阪中之島線

京阪本線の大阪市都心部への延伸と天満橋駅以西の輸送力増強を図って建設。中之島地区の東西方向の交通を担う。平成20年10月開業。

写真提供：京阪電気鉄道株式会社

OSAKA PRESENTATION

大阪プレゼンテーション

池田市

庶民文化発祥の地
数々の「初めて」のドラマが、
ここから生まれた

大阪・梅田から阪急電車で 20 分。NHK 連続テレビ小説『てるてる家族』で
すっかり有名になった大阪府池田市は、人口約 10 万人のベッドタウン。
高度成長期の影の立役者である軽三輪自動車ミゼットや
世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」が生まれた地でもある。
歴史と共に歩み、現在へと連綿と続く文化の発祥の地、池田の魅力を探ってみた。

「呉服」発祥の地、池田

池田市は阪急電鉄沿線と国道171号沿線の南部を中心に展開し、北部は農地や山地が広がっている。猪名川上流域の多田と、能勢地方の出入口にあたり、上流域で生産される諸物資が集積する地として、古くから市場が開かれていた。その歴史は南北朝の頃までさかのぼり、北摂地域では伊丹とならび、政治経済の中心地として繁栄してきた。

池田という地名は、室町時代、豪族の池田氏によって治められたのが地名の由来と伝えられている。池田城が築かれたのもその頃で、それ以前は呉庭荘と呼ばれていた。呉庭と聞くと、池田市室町にある呉服神社を思い起こさせる。ここには応神天皇の時代、機織・縫製技術を得るために呉の国に派遣された猪名津彦命によって連れ帰られた、呉服媛・穴織媛・兄媛・弟媛の4兄弟のうち、呉服媛が祀られている。「はとり」は「はたおり」に通じ、かつての庶民の普段着である「呉服」は、ここ池田が発祥の地だと伝えられる。呉服神社は阪急電鉄によって周辺地域が開発され、鳥居から神社までの参道は、阪急宝塚線の高架沿いの住宅街を通る道だ。初詣や祭事が行われる時期には、池田市の神社仏閣の中でも屈指の参拝客で賑わう。

呉服の祖を祭った「呉服神社」

日本初の分譲住宅地「室町住宅」

呉服神社を取り囲むように広がる「室町住宅」は、日本初の分譲住宅地として知られている。阪急電鉄の創始者、小林一三が鉄道事業と沿線の不動産事業の二つの事業を行う私鉄経営のビジネスモデルを考え、最初に実行したのが、1910年（明治43年）に開通した箕面有馬電気軌道と、同じ年に分譲を開始した池田市にある池田室町の郊外住宅地開発である。約300戸という大規模な、当時としてはまだ珍しい電灯付き西洋住宅だった。戦災に遭っていないため、漆喰の壁と瓦屋根の板塀等当時の面影を残す住宅もまだ多く存在し、自治会の「室町会」は全国でも珍しい法人格を持っている。敷地100坪（330平方メートル）で2500～3000円。公務員の初任給「50円」を頭金に、残りを10年月賦払いという、当時では珍しかったローンも取り入れられて販売された。室町住宅は以後、日本の民間住宅開発のモデルとなる。東京屈指の高級住宅街で知られる田園調布は、同じく小林一三が直接指導した室町の「弟分」ともいえるものだ。

日本初の分譲住宅「室町住宅」

魔法のラーメン「チキンラーメン」

鉄道事業と分譲住宅、百貨店、宝塚歌劇と、次々に新しい事業を生み出した小林一三が亡くなったのは、1957年（昭和32年）。その翌年、室町住宅に近い呉服町の民家の裏庭で、世界初の即席麺、チキンラーメンが誕生した。日清食品の創業者、安藤百福会長は、終戦直後、一杯のラーメンを求めて並ぶ長い列を見て「手間をかけずに多くの人が食べられるラーメンをつくりたい」と考えた。自宅の敷地内に作業小屋を建て、世界中どこにも無い、まさに夢の完成に向けて、試行錯誤を繰り返した。ある日、安藤家の夕食のおかずとして並んだ天ぷらを見て、「油で麺を揚げれば水分が飛び、保存性が良くなる。しかもパンにバターが合うように、炭水化物と油というのは非常に相性が良い。これはいけるのではないか」とひらめいた。その思い付きをヒントに、「油の熱で乾かす」瞬間油熱乾燥法が生まれた。構想から10年。ついに、お湯をかけて数分待つだけで食べられる魔法のラーメンが誕生した。即席麺は今、世界中で年間550億食が消費されるビッグ商品として成長し、世界中の人々の胃袋を満

インスタントラーメンの歴史に触れられる「インスタントラーメン発明記念館」

たしている。この偉大な業績を記念して、１９９９年（平成11年）、池田市に「インスタントラーメン発明記念館」が建てられた。館内にはチキンラーメンを開発した当時の研究小屋が復元・展示され、世界初のカップラーメン「カップヌードル」の誕生エピソードを紹介するシアターなど、見所も満載だ。子供からお年寄りまで、皆笑顔で楽しんでいる。

商店の足として活躍したダイハツミゼット

チキンラーメンの誕生と同じころ、安藤の作業小屋から2㎞ほど離れたダイハツ工業で、軽三輪自動車「ダイハツミゼット」が生まれた。それまでダイハツが製造していた三輪自動車は小型枠のトラックであったが、１９５４年（昭和29年）にトヨタ自動車が四輪トラックを販売したのをきっかけに、三輪トラックの需要が低下した。そこでダイハツは、あまり見向きもされてなかった軽自動車枠に目をつけ、当時存在した軽自動車免許で運転できる三輪自動車を開発。１９５７年に「ダイハツミゼット」として発売を開始した。手軽に荷物が運べるため、お米屋さんや八百屋さんなど商店主たちに大好評。ミゼットは「まちのヘリコプター」として親しまれ、大村崑（こん）を起用したＣＭの大当たりにも後押しされて、一躍ベストセラーとなったのだった。ＮＨＫの連続テレビドラマ小説『てるてる家族』でパンの配達に使われていた、あのクルマである。

ダイハツミゼット　写真提供：ダイハツ工業株式会社

”日本初”と”池田発”を育む土壌とこれからの取り組み

「気候がよく水質が良好で、大阪に近い」と小林一三が室町住宅の案内冊子で語ったように、池田には自然や地形的な魅力もある。池田市の細河地区は「埼玉・安行（あんぎょう）」「愛知・稲沢」「福岡・久留米」と並ぶ、植木の日本４大産地の一つ。その歴史は４００年以上、15世紀末にさかのぼる。初めは山林用苗木から始まり、後に庭木へと移り、江戸時代中期にはさまざまな盆栽や花の生産が行われた。池田市が日本４大産地の一つとして発展した背景には、にわか雨が多く、良質の赤土が取れ、殺

歴史と伝統・文化を味わおう!

池田落語みゅーじあむ

池田銀行発祥の地にある『池田市立上方落語資料展示館（愛称・落語みゅーじあむ）』。上方落語情報コーナーをはじめ、お囃子道具も揃った高座、池田を舞台にした噺「牛ほめ」や「猪買い」の展示コーナー、貴重な映像や音源が楽しめる貸出カウンターなど、落語ファンにはたまらない充実ぶり。もちろん、アマチュア落語入門講座や落語みゅーじあむ寄席など、生の落語も思う存分楽しめる。

- 住所／栄本町7-3
- 開館時間／11:00～19:00
  火曜日、年末年始休
  ※火曜日祝日の場合は翌日休館
- 入館料／無料
  （落語会などは木戸銭が必要です）
- 電話番号／ 072-753-4440

池田の銘酒「呉春」の酒蔵

大阪府立園芸高等学校

菌作用があるイオン化金属を含む水が豊富など、植木がよく育つ自然環境に恵まれていたこと。大消費地である大阪、京都などに近かったということがある。現在では植物の栽培技術を学ぶことができる大阪府立園芸高等学校がその歴史を引き継いでいる。

猪名川と五月山の山すそが扇形に開いた場所に中心地が展開し、その間を能勢街道が通る。旧能勢街道沿いには歴史的風情が残る町家が軒を並べ、池田の銘酒と称される造り酒屋「呉春」もここにある。呉春の銘柄は、池田市に滞在した絵師、呉春に由来している。かつて池田は、灘や伊丹をしのぐ酒造の地だった。江戸時代の町家での商いを思わせるかのように、荷出しの車と仕入れの酒屋の商人で、今も賑わいを見せている。

新たな「初」を期待して、市は「事始め奨励大賞」を作った。故安藤百福会長の寄付を元に大賞は１００万円。偉大な先人にならい、創業間もない、または新事業を起こそうとする中小企業や起業家を支援するための施設、「いけだビアまるセンター」も２０００年夏にできた。

偉大なる創造性で庶民の夢をかなえてきた池田。これからももっと、〝まったく新しい何か〟を生み出してくれることだろう。

天地創造

夜明け前

中之島ダイビル新築工事

まだ誰も経験したことのない「石打込み・SRC-PC・構造柱」による超高層ビル

**中之島3丁目界隈の発展がめざましい。
すでに完成している地上31階の中之島三井ビル、地上41階の関電ビルに加え、
今回お伺いした地上35階の中之島ダイビルの完成や、
中之島ダイビル・ウエスト計画、朝日ビルの建て替え計画などにより、
中之島3丁目界隈は超高層ビル群に生まれ変わろうとしている。**

変貌する中之島界隈と中之島3丁目共同開発プロジェクト

中之島は、堂島川と土佐堀川に囲まれた東西3kmほどの中洲である。江戸時代には諸藩の蔵屋敷が集中し、天下の台所の基盤として、その繁栄は幕末まで及んだ。明治、大正、昭和にかけては、大阪市役所、府立中之島図書館、中央公会堂、中之島公園、日本銀行、企業のビルなどが建てられ、大阪の行政、経済、文化の中心地となっている。

この中之島の中でも四つ橋筋以西の西部地区は、21世紀における大阪の国際・文化・情報ゾーンとして大阪市の「中之島西部地区開発構想」に指定されている。

こうした状況を踏まえて、ダイビル・関西電力・関電不動産の3社が進めているのが、「中之島3丁目共同開発プロジェクト」だ。その計画の概要は、

■第一期（2004年完成）
関西電力中之島変電所を移設した跡地に、地上41階の関電ビルを建設。関西電力の本店や関連会社が旧・関電ビルからここに移転した。

■第二期（2009年3月完成予定）
旧・関電ビル跡地に中之島ダイビルを建設。現在のダイビルのテナントなどがここに移転する予定だ。今回取材にお伺いしたのはこのビルの建設現場である。

■第三期（2012年完成予定）
ダイビル跡地に中之島ダイビル・ウエスト（仮称）を建設する計画だ。2008年10月には京阪電鉄中之島線が開業し、「渡辺橋」駅と中之島ダイビルが地下で結ばれる。また、それぞれのビル同士も地下で連結される予定だ。また、中之島3丁目では、朝日ビルとフェスティバルホールが「中之島ツインタワープロジェクト」として建て替えを計画しており、これらが完成した暁には、この界隈は

南面外観
平成20年9月撮影

超高層ビル群が林立する街として大きな変貌を遂げることになる。

この中之島3丁目をひとつの街区としてとらえ、それぞれのビルが同デザインのレンガタイルの遊歩道・クスノキ、クロガネモチでの街路樹、ボラードと呼ばれる街路照明などで演出。街区全体を統一したデザインで計画している。

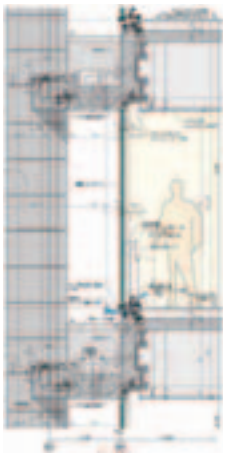
誰も経験したことのない工法への挑戦「石打込み・SRC-PC・構造柱」

外観を眺めると、周囲を取り囲んでいるルーバー状の柱が目に付く。外観デザインの特徴となっているこの柱が、実は建物を支える構造柱なのだ。外部に構造柱を設けたため、内部は柱のない空間が可能となった。柱単体はPCa（プレキャストコンクリート）製の工場生産だが、それに外壁仕様となる石材を打込み一体化している。超高層ビルの外部柱に石を打込むという世界でも初となる試みだ。

また、メンテナンス用のバルコニーを設けており、このルーバー状の構造柱とバルコニーが日差しの調整と、ガラスカーテンウォールの換気口が空気の流れを生み出す自然換気の役割を担っている。「エコロジカ

天地創造

夜明け前



「エコロジカル・ファサード」断面

柱のない大きな空間が実現

ルファサード」と呼ばれ、この建物の特徴ともなっている。

1・6mピッチに配置されたルーバー状の構造柱は、視界を確保するため、柱の幅を42cmと小さくした結果、ワンフロアあたり98本という本数が必要になったのだ。1本の柱の長さは2フロア分なので、総数では、98本×17段＝1666本。それを接合するため、1666箇所の現場接合が出現する。

万一の地震の時には、大きく動くことで揺れを吸収する構造柱。それに打込まれた石材に剥脱（はくだつ）の恐れはないのか。日建設計、鹿島の技術研究所、現場技術者の3者で綿密な検討と実験が繰り返し行われた。

まだ、課題はある。1666箇所の現場での継手施工だ。接合部の施工を、構造柱以上の強度で施工し、工場と同じ手法で石を打込み施工していく。この工程でも、気の遠くなるような実験が繰り返されたそうだ。「この世界では、段取り八分とよくいわれます。段取りが完璧なら、計画の80％は完成したという意味ですが、それを実感することのできた現場です」とは、案内いただいた糟谷（かすや）正則所長の感想だ。続けて「これに類似した工法は小規模での施工例はあるのですが、超高層ビルでの施工は初めてです。まだ、誰も経験したこと

中之島ダイビル新築工事の 建設テクノロジー

設計・技術研究所・工場・現場が一体となって「石打込み・SRC-PC・構造柱」を開発

開発にあたって課題となったのは、超高層ビルの外部柱に石を打込むという世界初の試みのため、どこにも実験データがなく、すべてを自前で検証する必要があったことだ。そのため、技術研究所やPC工場で、耐震性能実験・制作実験・コンクリート充填実験などを、目指すスペックが得られるまで繰り返し実施した。

また、1666箇所もの現場での接合部が、工場生産箇所と同等の強度を実現できるかどうかも課題となり、主に現場での実験が繰り返された。コンクリート打設試験・透明型枠による打設試験・石打込み試験などである。

❶技術研究所の耐震性能試験
PCa柱の曲げ試験、表面処理材の種類・塗り厚の比較試験などを実施。

❷PC工場のコンクリート充填試験
コンクリートの充填状況をワイヤーソーで切断して確認したり、実物大製作試験の過程で課題を抽出、解決していく。

のない施工。誰もが不安からスタートし、実験を重ねるに連れて、大丈夫だという確信へと変わっていきました」と。

設計者、技術研究所、現場技術者による検討と実験の繰り返しが、誰も成し遂げたことのない未知なる施工を可能にしたのだ。

650人の作業員の心をひとつに職長会とともに安全活動を展開

同現場には、常に500～650人の作業員が勤務している。全員の安全を預かる所長にとって、その苦労は並大抵のことではない。基準階約700坪のフロアに650人が一堂に会するため、朝礼ひとつとっても大変である。意思の疎通を図るために、大型プロジェクターを3台も使用して朝礼を実施する。

鹿島の安全基本行動に「一声かけ」「現地KY（危険は必ず潜んでいる）」「指差喚呼」があるのだが、糟谷所長は、それらを自身の工夫でさらに進化させている。たとえば、朝礼は「元気ですか！」のかけ声から始まる。声を出すことで、脳が刺激され、仲間同士のコミュニケーションが活性化されることは指摘されてきたが、所長はどんな言葉がいちばんよいかを思案し、この挨拶となった。

糟谷所長

また「声だしグッパー」というのもある。声を出しながら、グーとパーを出す。勝ちのパーが優先して通行し、グーは待機だ。「現地KY」では、危険が潜んでいる箇所をグループ毎に分かれて、検証することにしている。「指差喚呼」では、あらかじめ指差喚呼する場所を指定・表示し、その場で必ず指差喚呼を実行するようにしている（場所型指差喚呼）。その他にも、協力会社毎に実施する指差喚呼を決め、「指差喚呼率先ベスト」を着用して、その意識を高めるようにしている（作業型指差喚呼）。

こうした安全活動を側面から推進するのが、職長会による安全管理活動だ。環境委員会、一声かけ推進委員会、簡易足場安全推進委員会、熱中症対策委員会（夏場）の4つの委員会だ。それぞれ、揃いのベストを着用して職場を巡回パトロールすることで、安全行動のさらなる推進をはかろうとするものだ。

糟谷所長に、現場技術者のやりが

❸PC工場ストックヤード
工程に合わせて生産されたPCa柱がズラリと並ぶ。

❹現場のコンクリート充填試験
透明型枠によるコンクリート打設試験。充填状況を確認。

❺PCa柱建て起こし
建て起こし時にも柱に負荷がかからないようピンローラーを使用。

❻現場接合部　石打込み

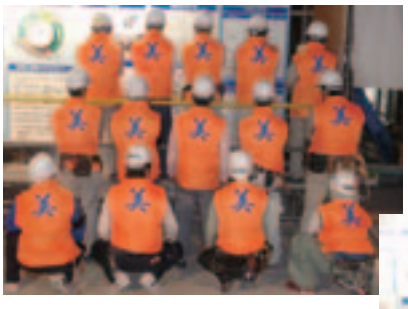
北西面からの外観。手前はダイビル、右奥の高層ビルは関電ビル、物件左隣の高層ビルは中之島三井ビル

いについてお話しいただいた。「やはり、いちばんのやりがいは達成感でしょう。新入社員の頃、初めての現場で右往左往し、職人さんに教わりながらすすめた工事。その養生シートがはずされて建物全容が現れた時には言葉にできない感動を覚えました。また、毎回違う現場になるため、現場ごとに変化があり、それが楽しさになっていると思います。現場技術者というのは、最終的には設計図面の仕様どおりに完成させなければなりません。別の技術者でも同じ仕様ならばできあがる建物は同じになるはずです。しかし、出来上がりは同じですが、その過程と手法は技術者によって異なります。コスト削減の方法、工期短縮の方法、安全管理の方法、技術者はそれぞれ自分だけのやり方を持っていて、技術者の数だけ方法があり、自分の好きなやり方で進めることができる。現場技術者の誇りであり、密かな楽しみでもあるのです」。

こうして、世界中の建設現場で、きょうも現場技術者たちが、職人さんたちと協同で新たな何かを創造している。

■工事概要

名　　称	中之島ダイビル新築工事
所 在 地	大阪市北区中之島3丁目 （旧関電ビル跡地）
工　　期	2006年10月～2009年3月
構　　造	S造、一部SRC造、RC造
規　　模	地下2階、地上35階、塔屋3階
建築面積	2693.04㎡
延床面積	79467.08㎡
事 業 主	ダイビル株式会社 関電不動産株式会社
設　　計	株式会社日建設計
施　　工	鹿島建設株式会社



揃いのベストを着た職長会の各委員会。
上段右 / 簡易足場安全推進委員
上段左 / 環境委員
下　段 / 一声かけ推進委員

CONTENTS

対談　OSAKA粋談放談

「主人（朝原選手・北京五輪陸上銅メダリスト）の
引退後は家族みんなで気軽にジョギングを楽しみたい」

スポーツコメンテーター　奥野　史子 さん
社団法人 大阪建設業協会　会長　奥村　太加典　1

おおさか なう

「大阪交通網の、包括的大動脈
ー大阪モノレールー」　7

特集　OSAKA　PRESENTATION

池田市

「庶民文化発祥の地
数々の『初めて』のドラマが、ここから生まれた」　9

ドキュメント　天地創造夜明け前

中之島ダイビル新築工事

「まだ誰も経験したことのない
『石打込み・SRC-PC・構造柱』による超高層ビル」　13

編集後記

いつもO-WAVEをご愛読くださいましてありがとうございます。巻頭の対談では、バルセロナ五輪シンクロナイズドスイミングの銅メダリスト、スポーツコメンテーターの奥野史子さんにご登場いただきました。ちょうど北京五輪が閉会した直後の対談で、ご主人の朝原選手の快挙に、対談は大いに盛り上がりました。ご主人の引退後は、「記録に縛られずに、家族で楽しみながら走りたい」というご感想が印象的でした。現場取材では中之島ダイビルの建築工事を取材させていただきました。650人もの人々が働く建設現場のため、現場内に食堂まで用意されていました。数百人が昼時にビジネス街に出ていくと飲食店が混乱する恐れがあるからで、大規模現場の所長の細かな気配りに感心させられました。O-WAVEは今後も、大阪と建設業のさまざまな姿を取り上げていきたいと考えています。さらなるご愛顧をお願いいたします。

O-WAVE　広報誌オーウェーブ　Vol.62

2008年11月1日発行

■発行　社団法人　大阪建設業協会
■企画・編集　広報委員会
■協力　日本マーケティング株式会社

〒540−0031　大阪市中央区北浜東1番30号
大阪建設会館内
TEL.06−6941−4822
FAX.06−6941−3499

URL=http://www.o-wave.or.jp/

大阪の未来を創造する

（社）大阪建設業協会の会員

青木あすなろ建設(株)大阪本店
(株)淺沼組
(株)安部工務店
安藤建設(株)大阪支店
(株)イチケン関西支店
(株)今西組
岩出建設(株)
梅林建設(株)大阪支店
栄和建設(株)
(株)榎並工務店
大木建設(株)大阪支店
大西建設(株)
(株)大林組
(株)大本組大阪支店
(株)奥村組
奥村組土木興業(株)
(株)長村組大阪支店
(株)尾田組大阪営業所
(株)鍛治田工務店大阪本社
鹿島建設(株)関西支店
(株)金山工務店
(株)紙谷工務店
北野建設(株)大阪支店
(株)木村工務店
共立建設(株)関西支店
清田軌道工業(株)
(株)熊谷組関西支店
栗本建設工業(株)
(株)小池組大阪営業所
コーナン建設(株)
(株)鴻池組
櫻井工業(株)
佐藤工業(株)大阪支店
三陽協同建設(株)
三和建設(株)
清水建設(株)関西事業本部
下村建設(株)
(株)昭和工務店
杉本建設(株)
西武建設(株)関西支店
生和建設(株)
積水ハウス(株)
(株)錢高組
大幸建設(株)
大昭工業(株)
大成建設(株)関西支店
大鉄工業(株)
太平建設工業(株)
大豊建設(株)大阪支店
大和興産(株)
大和ハウス工業(株)
髙松建設(株)
(株)竹中工務店
(株)竹中土木大阪本店
(株)辰巳工務店
田中建設(株)
(株)谷安組
壺山建設(株)
鉄建建設(株)大阪支店
(株)トーヨーテクニカ
戸田建設(株)大阪支店
飛島建設(株)中日本土木支社
(株)鳥居工務店
中井エンジニアリング(株)
(株)中野組
(株)ナカノフドー建設大阪支社
中林建設(株)
(株)中道組
南海辰村建設(株)
南野建設(株)
南部建設(株)
西田工業(株)大阪本店
西松建設(株)関西支店
(株)日新工営
日本建産(株)
(株)能勢工務店
野村建設工業(株)
(株)間組大阪支店
(株)長谷工コーポレーション
(株)ハンシン建設
(株)ピーエス三菱西日本支社
(株)樋口組
(株)久本組
(株)福田組大阪支店
富国建設(株)
藤井建設(株)
(株)藤木工務店
(株)フジタ大阪支店
(株)不動テトラ
(株)前田組
前田建設工業(株)関西支店
(株)増岡組大阪支店
松井建設(株)大阪支店
(株)松村組
丸一建設(株)
(株)三木組
三井住友建設(株)大阪支店
村本建設(株)
望月建設(株)
(株)森組
(株)森長工務店
(株)森本組
(株)吉田組大阪支店
龍華土建工業(株)
立建設(株)大阪支店
りんかい日産建設(株)大阪支店

（2008年10月1日現在 50音順）

表紙について

「エコロジカル・ファサード」と呼ばれる外観。
ルーバー状にレイアウトされた構造柱の縦のラインと、
バルコニーの横のラインによって、
日差しを遮るとともに自然の換気を実現している。

撮影　奥脇 孝一

シネマの中の大阪 －道頓堀－

道頓堀川

煌びやかなネオンの下を、
混濁を包み込んで
ゆっくりと流れる道頓堀川

イラスト：有田和之

『道頓堀川』は、宮本輝原作の『泥の川』『蛍川』に続く「川三部作」の完結編である同名小説を、深作欣二監督が映画化した文芸群像劇。『蒲田行進曲』や『仁義なき戦い』とは違う、悲哀のドラマという未知の分野に望んだ意欲作です。主人公である邦彦（真田広之）は、道頓堀川沿いの喫茶店で働きながら美大に通う画学生。ヒロインは小料理屋の女将まち子を演じる松坂慶子。それぞれに痛みを抱えながらも、惹かれあっていく真田と松坂の二人。二転三転する恋の行方は、原作とは違った深作監督らしい意外な結末を迎えます。

きらびやかな世界に生きながら、自分の力ではどうにもならない想いを持て余している道頓堀の住民たち。父と子、男と女、さまざまな人間たちが織りなすドラマが、白熱した演技がぶつかり合うような鮮烈さで描かれています。そんな人間模様を暗喩するように、道頓堀川に映るネオンのきらめきや昼間の道頓堀の喧騒が繰り返し描き出されるのも、本作の特徴です。

『道頓堀川』
発売・販売元　松竹(株)映像商品部
DVD 発売中 ￥3,990(税込)

映画から25年以上経った現在、道頓堀は少しずつ表情を変えながらも、大阪の中心地として栄えています。また、つい先日姿を消した「くいだおれ」はもちろん、まだ陸橋として残っていた心斎橋など、昭和の“ミナミ”の風情が感じられるのも、この作品の魅力です。

昭和57年（1982年）松竹

◆監　督　深作欣二
◆原　作　宮本輝
◆脚　本　野上龍雄、深作欣二
◆出　演　松坂慶子、真田広之、佐藤浩市、
カルーセル麻紀、柄本明、大滝秀治、
渡瀬恒彦、加賀まりこ、山崎努

ドラマの舞台となる道頓堀

PRINTED WITH SOY INK
R100
本誌は再生紙を使用しています